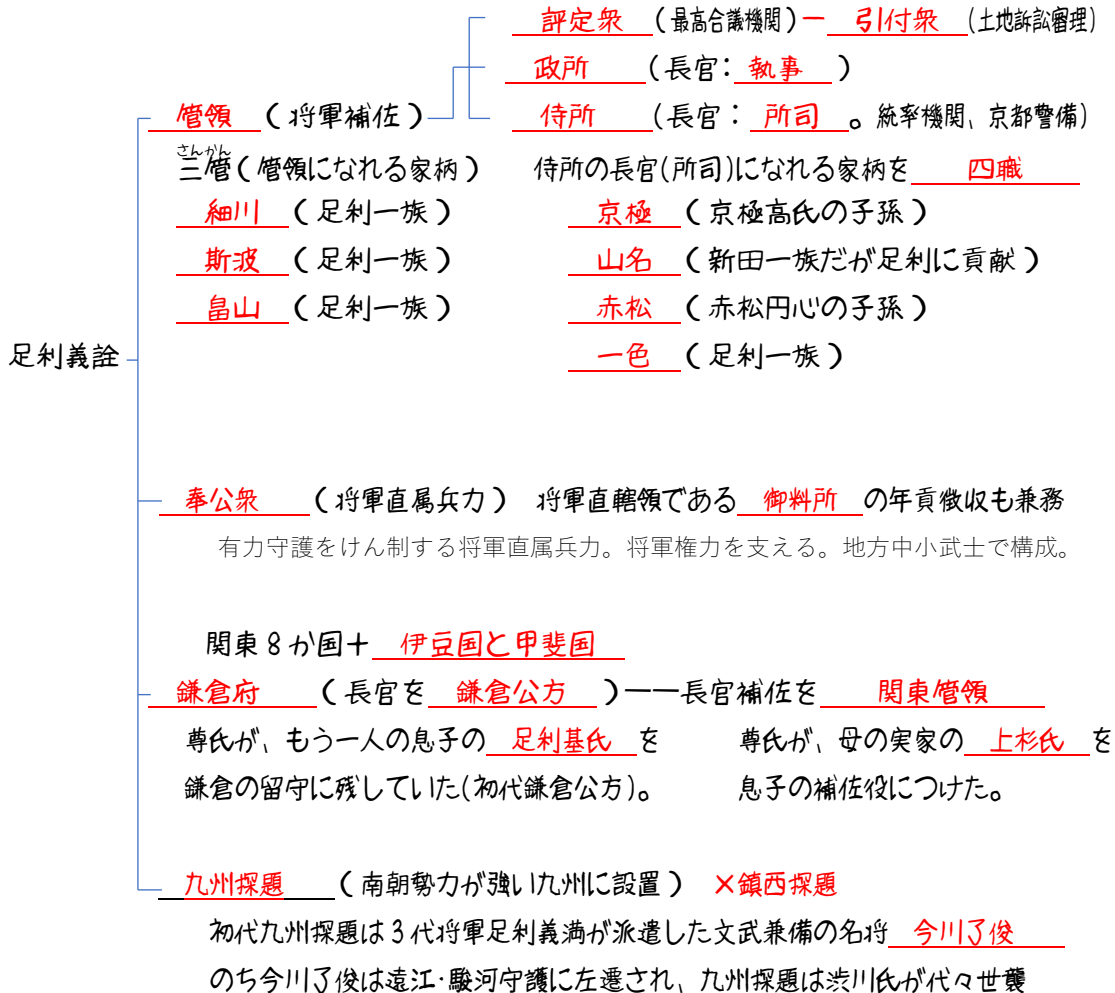


039 室町時代 政治史④ 室町幕府の機構

室町幕府の機構は、2代将軍足利義詮のころに整った。

幼少の足利義詮を支えた京極高氏(佐々木道誉)と足利一族の細川頼之により整備された。



問1 将軍直轄領である御料所は、(あ 将軍を補佐する管領 い 将軍直轄兵力の奉公衆) が管理した。(2019 早大法)

問2 赤松氏の説明として正しいものを、次の①～③の中から一つ選びなさい。(金城学院大)

- ① 赤松氏は、足利一門であったために重職に就き、幕政の運営にあたった。
- ② 赤松氏は、侍所の長官(所司)に交代で任じられた有力守護であった。
- ③ 赤松氏は、奉公衆と呼ばれる将軍の直轄軍の主要な構成員であった。

問3 足利尊氏について、正しいものを選べ。(早大国際教養 2019)

- ア 高氏と名乗っていたが、後醍醐天皇の名である尊治から一字を許され尊氏と改名した。
- イ 建武式目は室町幕府の当面の政治方針を示すものであり、17カ条から成っている。
- ウ 建武式目の制定に先立ち、北朝から征夷大将軍に任じられた。
- エ 室町幕府の運営では、弟の直義に行政や司法を担当させた。
- オ 東国を統括する地方機関として鎌倉府を設置し、息子の基氏を鎌倉公方とした。